SONY®

3-207-624-**03**(1)

デジタル
サーベイランス
レコーダー

取扱説明書 追補版

補足対象マニュアル：

HSR-X200 取扱説明書（部品番号：3-206-603-##）

HSR-X200

はじめに

デジタルサーベイランスレコーダーHSR-X200では、ファームウェアのバージョンアップに伴い、ネットワークを介して操作可能な機能が拡張されました。
この追補版では、追加された機能の使いかた、これらの機能に必要なActive XおよびHSR-X200 Viewerのインストール方法などを説明します。

◆ 本書に記載されている以外の機能については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

対応ファームウェア

本書に記載されている機能は、下記のバージョン以降のファームウェアを搭載したHSR-X200で有効です。

MAIN 1.12
SUB 1.04

動作環境

本書に記載されている機能は、下記の動作環境で有効です。

コンピューター：Pentium III 400MHz、64MB以上
OS：Windows 98/Me/NT 4.0 SP 6a以上/2000/XP
Webブラウザ：Internet Explorer 5.0 以上

目次

Web操作における追加機能

追加機能の概要

1. ネットワーク経由での音声転送機能

ネットワーク接続時、ライブモードおよび再生モードでの音声転送を可能にしました。PC上で音声をモニターすることができます。

◆詳しくは「ネットワーク経由で音声を転送する」(4ページ) をご覧ください。

ご注意

- 音声を優先して転送するため、画像転送に遅延が生じます。また、音声の途切れ対策としてバッファを持たせるため、ライブモードであっても遅延が生じます。バッファの時間は5、10、15、20、30秒から選択可能です。ネットワークの環境に応じて時間を設定してください。バッファの時間が長いほど音声の途切れ対策として有効ですが、音声・画像共に遅延が大きくなりますのでご注意ください。
- 音声転送は、ID2および ID3で可能になります。ID1では音声転送のメニューが表示されません。
- 音声転送モードを選択した場合は、ライブモードか通常再生しかできません。PAUSE やSEARCHなどの特殊再生はできません。特殊再生を行なう場合は、音声転送モードを解除してください。
- Web画面の上部に表示している時刻やステータス情報の更新速度は、通常1秒ですが、音声転送モードを選択した場合は、5秒間隔となります。

2. 音声のダウンロード機能

音声のダウンロード機能を追加しました。PCカードへ音声をダウンロードすることが可能になります。また、ネットワーク経由でPCへ音声をダウンロードすることも可能になります。

◆ 詳しくは「音声をダウンロードする」(5ページ) をご覧ください。

ご注意

- ダウンロードした画像と音声を再生するは、HSR-X200 Viewer (Ver. 1.4.5 以降) が必要となります。

  ◆HSR-X200 Viewerについては、8ページ以降をご覧ください。
- ネットワーク経由で PCへ音声を転送し、モニターしたり、保存したりするには、ACTIVE Xが必要となります。ACTIVE Xは単体でもインストールできますが、HSR-X200 Viewer Ver. 1.5.1以降をインストールすると自動的にインストールされます。

3. ネットワーク経由でのアラームイベント音声通知機能

アラーム記録が開始されると、ネットワークに接続されたPCに、オリジナルサウンドで通知することができます。

◆ 詳しくは「ネットワーク経由でアラームイベントを音声通知する」(7ページ) をご覧ください。

ACTIVE Xをインストールする

ネットワーク経由で PCへ音声を転送し、モニターしたり、保存したりするには、“Active X” が必要です。

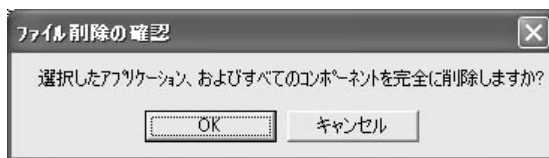
◆ Active Xを組み込むためのSetupファイル “ActiveX***.exe.”については、ソニーのサービス窓口へお問い合わせください。

インストールの手順

1 ActiveX***.exe アイコンをダブルクリックして起動する。

自動的にインストールが始まります。

ご注意

すでに旧バージョンのActive Xがインストールされている場合は、「ファイル削除の確認」画面が表示されますので、[OK] をクリックしてください。

旧バージョンのActive Xの削除が終了すると、「メンテナンスの完了」画面が表示されますので、[完了] をクリックしてください。
再度手順**1**を行い、インストールを開始してください。

2 次の画面が表示されたら、[完了] をクリックする。

インストールが終了します。

ネットワーク経由で音声を転送する

ライブ画面

音声転送機能（初期設定：切）

画像と共に音声も一緒に転送するかどうかを、「音声」スイッチ①で設定できます。

切：音声を転送しない

入-5秒〜入-30秒：音声を転送する（秒数はバッファ時間であり、同時に音声遅延時間になります。ライブモードであっても遅延が生じます。ネットワーク速度が遅い場合は、音声の途切れを防止するために時間を長めに設定してください。）

音声を転送する場合は、［入-5秒］〜［入-30秒］のいずれかに設定し、［セット］ボタンをクリックしてください。

ご注意

- バッファ時間が長いほど音声の途切れ対策として有効ですが、音声・画像共に遅延が大きくなります。
  音声優先で転送されますので、環境によっては画像が表示されない場合もあります。
- 音声転送にはユーザーレベルID2以上の操作権限が必要です。操作権限がID1の場合は、音声転送のメニューは表示されません。
- 音声転送モードを選択した場合は、ライブか通常再生しかできません。PAUSEやSEARCHなどの特殊再生は操作できません。特殊再生を行なう場合は、音声転送モードを解除してください。
- Web画面の上部に表示している時刻やステータス情報の更新速度は、通常1秒ですが、音声転送モードを選択した場合は、5秒間隔となります。

音声をダウンロードする

ダウンロード画面

音声のダウンロード（初期設定：切）

画像と共に、音声も一緒にダウンロードする場合は、「音声」スイッチ②を［入］に切り替えます。
画像のみをダウンロードする場合は初期設定（切）のままにしておいてください。

ダウンロードを実行した後、下記の画面が表示されたら、［OK］をクリックしてください。ダウンロードが終了します。

音声の再生

画面上の再生操作で、ダウンロードした音声も同時に再生するときは［音声再生］③ をクリックします。

音声付き画像の保存

• 画像と音声を保存する場合

［音声付き保存］④ をクリックし、「SAVE WITH AUDIO」ダイアログボックスで保存場所とファイル名を指定して、［保存］をクリックします。

保存が終わると終了確認のダイアログボックスが表示されますので［OK］をクリックしてください。

• 画像のみを保存する場合

Internet Explorerの［ファイル］メニューの［名前を付けて保存...］を選択し、「Webページの保存」ダイアログボックスで保存場所とファイル名を指定して、［保存］をクリックします。
Webページが保存され、同時にすべての画像も保存されます。

ご注意

- Internet Explorer 5.0以上をお使いください。それ以外のバージョンでは画像が保存されません。
- 音声データは約2分までのダウンロード制限があるため、画像枚数が多いとダウンロードできない場合があります。
  その場合は、ダウンロード枚数を減らして、再度ダウンロードを行なってください。

ネットワーク経由でアラームイベントを音声通知する

アラームの発生をネットワーク接続しているPCに通知することができます。
PCの特定フォルダに保存したサウンドファイルを繰り返し再生し、オリジナルの警告音を鳴らします。

1 警告音のサウンド（WAV）ファイルを作成する。

2 指定ファイル名（BUZZER.WAV）を付けて、C:¥BUZZERディレクトリに保存する。

C: ¥BUZZER¥BUZZER.WAV

アラーム記録をしている間、警告音は鳴り続けます。

警告音を停止するには

操作パネルの再生停止ボタンをクリックしてください。

HSR-X200 Viewer

HSR-X200 Viewerは、HSR-X200/X209シリーズに対応した再生専用アプリケーションソフトです。
本機からPCのハードディスクやメモリースティック、CD-Rなどの記録媒体に保存された画像や音声データを再生する際にご利用ください。

◆ HSR-X200 Viewerについては、ソニーのサービス窓口へお問い合わせください。

ご注意

音声データを再生する場合はVer 1.4.5 以上が必要です。
なお、HSR-X200から SCSI経由でCD-Rに直接保存した記録データについては、画像のみ再生可能です。音声は再生できません。

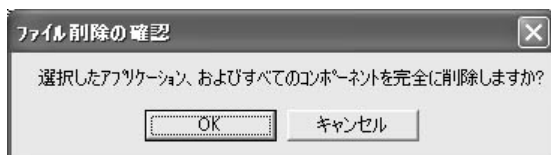
HSR-X200 Viewerのインストール

HSR-X200 Viewerのご利用に際しては、まず以下の手順でインストールしてください。

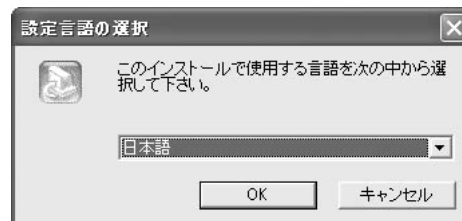
1 インストーラーの起動

ダウンロードしたHSR-X200Viewer***.exeのアイコンをクリックするとインストーラーが起動します。

ご注意

すでに旧バージョンのHSR-X200 Viewerがインストールされている場合は、「ファイル削除の確認」画面が表示されますので、[OK] をクリックしてください。

旧バージョンのHSR-X200 Viewerの削除が終了すると、「メンテナンスの完了」画面が表示されますので、[完了]をクリックしてください。
再度手順**1**を行い、インストールを開始してください。

2 設定言語の選択

「設定言語の選択」画面で、本ソフトウェアの表示（日本語または英語）を選択し [OK] をクリックします。

3 インストールの開始

HSR-X200 Viewer用の「InstallShieldウィザードへようこそ」画面で [次へ] をクリックするとインストール作業が始ります。

4 インストール先の指定

「インストール先の選択」画面に表示されているインストール先のフォルダーを確認し [次へ] をクリックします。
インストール先を変更したい場合は [参照] をクリックしてフォルダーを指定してください。

5 ファイルコピーの開始

画面に表示されている設定内容を確認し [次へ] をクリックするとファイルのコピーを開始します。
設定内容を変更する場合は [戻る] をクリックします。

6 インストールの終了

インストールが終了すると「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されますので［完了］をクリックします。

HSR-X200 Viewerの起動と終了

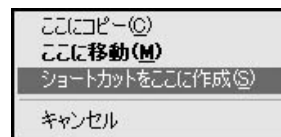
HSR-X200 Viewerを起動するには

スタートメニューから［プログラム］→［HSR-X200 Viewer］→［HSR-X200 Viewer］を選択し左クリックするとHSR-X200 Viewerを起動することができます。

HSR-X200 Viewerが立ち上がると、次の初期画面が表示されます。

ショートカットの作成

デスクトップ上に、ショートカットアイコンを作成しておくと、アイコンをダブルクリックするだけで素早く起動することができます。

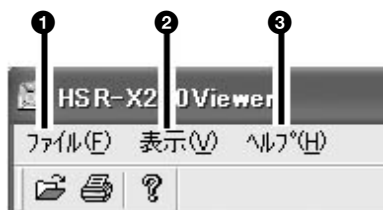
ショートカットアイコンを作成するためには、エクスプローラーでC:¥Program Files¥HSR-X200 Viewer¥HSR-X200Viewer.exeを選択して右クリックし、デスクトップ上のスペース領域に名前をドラッグします。コンテキストメニューから［ショートカットをここに作成（S）］を選択して左クリックしてください。

HSR-X200 Viewerの終了方法

画面右上の×ボタンをクリックするか、あるいは［ファイル］メニューの［終了］をクリックするとHSR-X200 Viewerメニューを終了することができます。

メニュー構成

HSR-X200 Viewerの基本メニューは画面左上のメニューバーとツールバーに集約されています。
メニューを実行する場合は、それぞれのコマンドをクリックしてください。

メニューバー

HSR-X200 Viewerの基本メニューです。
クリックするとそれぞれのコマンドの詳細が一覧できます。

❶ ファイル（F）

開く（O）： ファイルを「開く」のダイアログボックスを表示します。

印刷（P）： 指定した画像を印刷します。

タイトル入力（T）： 印刷画像のタイトル入力用のダイアログボックスを表示します。

終了（X）： HSR-X200 Viewerを終了します。

❷ 表示（V）

ツールバー（T）： ツールバーの表示・非表示を切り替えます。

ステータスバー（S）： 画面下のステータスバーの表示・非表示を切り替えます。

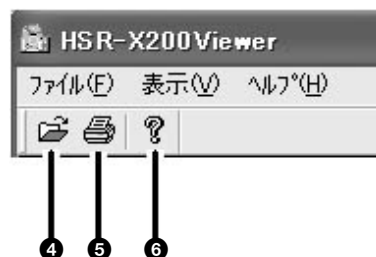
分割（P）： 画面下の境界線を上下に移動させます。

日付表示方式（D）： 日付の表示方式を設定します。

❸ ヘルプ（H）

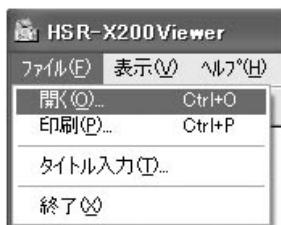
現在作動中のHSR-X200 Viewerのバージョン情報を表示します。

ツールバー

使用頻度の高いコマンドボタンが配置されています。

❹［ファイル（F）］メニューの［開く（O）］と同じコマンドです。
❺［ファイル（F）］メニューの［印刷（P）］と同じコマンドです。
❻［ヘルプ（H）］と同じコマンドです。

ファイルを開く

HSR-X200 Viewerが立ち上がったら、以下の手順で再生したい画像ファイルを開きます。

1 ［ファイル］メニューの［開く（O）］をクリックする。

あるいは、ツールバーの をクリックしてください。

2 ドライブとフォルダを指定する。

「開く」のダイアログボックスが表示されますので、画像データを読み込む記録メディアの種類によって次の2つのメニューのいずれかをラジオボタンで選択します。

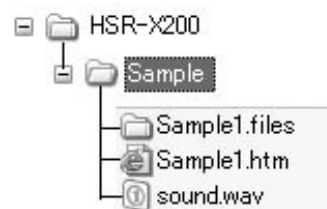
❶ JPEGファイルのあるフォルダを開く

本機からメモリースティックやネットワーク経由でコンピューターにダウンロードされたJPEG画像を開く場合に選択します。
一旦メモリースティックやコンピューターにダウンロードしたJPEG画像をコンピューターでCD-Rへコピーした場合も、同様に「JPEGファイルのあるフォルダを開く」を選択します。

［参照...］をクリックするとフォルダツリーが一覧できますので、閲覧したいフォルダを指定して［OK］をクリックしてください。
サムネイル画像を表示させる場合は、「サムネイル表示」をオンにします。

ご注意

- 音声を再生する場合は、必ずsound.wavファイルを含むフォルダを指定してください。

下図の場合　D:¥HSR-X200¥Sample

- 本機からSCSI経由で直接CD-Rにダウンロードした画像を開く場合は、ここでCDドライブを選択しても開くことはできません。
  次の「CD-Rの画像を開く」を選択してください。

❷ CD-Rの画像を開く

本機からCD-Rにダウンロードした画像を開く場合に選択します。
ボックスには読み込み可能なドライブが表示されますので、閲覧したいドライブを指定して、［OK］をクリックしてください。

- Windows NT 4.0/2000/XPの場合：「D：」などのドライブナンバーを表示
- Windows 98/Meの場合：ドライブ名を表示

画像を見る

画像ファイルを開くと読み込んだ画像が表示されます。表示画面はメイン画面とサムネイル画面により構成され、スライドショーによるさまざまな再生操作が可能です。

❶ メイン画面

サムネイル画像をダブルクリックするとメイン画面に拡大表示されます。

ファイルを開いた時点では次の画像が表示されます。

- CD-Rの画像データの場合：先頭画像
- JPEG画像データの場合：ファイル名の番号が最も小さい画像

❷ 操作パネル

メイン画面の再生操作や画像調整を行います。

◆詳しくは次ページをご覧ください。

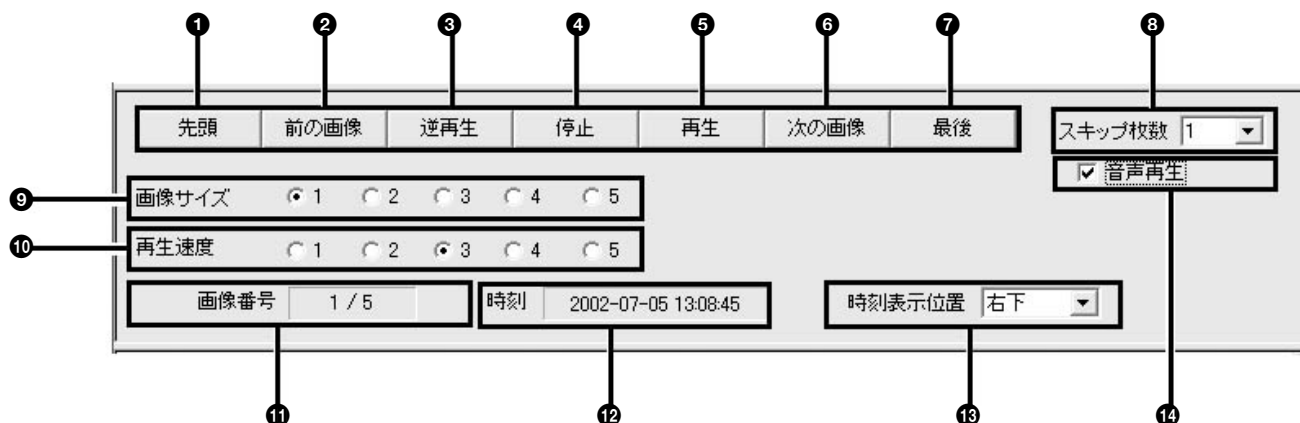
❸ サムネイル画面

ファイルに保存されている全画像がサムネイル（縮小画像）でファイル名の番号の昇順に一覧表示されます。

ウィンドウに収まらない画像はスクロールバーの操作で閲覧できます。

ご注意

「CD-R の画像を開く」を選択した場合は、サムネイル画像は表示されません。

操作パネル

❶［先頭］ボタン
スライドショーの先頭に移動します。

❷［前の画像］ボタン
「スキップ枚数」❽の設定に関係なく、スライドショーの1つ前の画像に移動します。

❸［逆再生］ボタン
「スキップ枚数」❽で指定された画像枚数をコマ飛ばししながら、スライドショーを逆再生します。

❹［停止］ボタン
スライドショーを停止します。

❺［再生］ボタン
「スキップ枚数」❽で指定された画像枚数をコマ飛ばししながら、スライドショーで連続再生します。

❻［次の画像］ボタン
「スキップ枚数」❽の設定に関係なく、スライドショーの1つ後の画像に移動します。

❼［最後］ボタン
スライドショーの最後に移動します。

❽ スキップ枚数（初期設定：1）
スライドショーの再生・逆再生でコマ飛ばしさせる画像枚数を指定します。
初期設定値（＝1）の状態では、すべての画像が1枚ずつ表示されます。

設定値：1、2、3、4、5、10、20、30、40、50、100、200

❾ 画像サイズ（初期設定：1）
メイン画像の表示サイズを5段階で切り替えます。

❿ 再生速度（初期設定：3）
スライドショーの再生速度を5段階で切り替えます。

再生速度	1	2	3	4	5
再生間隔	1秒	0.5秒	0.2秒	0.1秒	0.02秒

ご注意
実際の再生速度はコンピューターの性能によって変動します。

⓫ 画像番号
「現在の画像番号／全体の画像枚数」を表示します。

⓬ 時刻
表示画像のタイムスタンプを表示します。

ご注意
「年／月／日」の表示順はコンピューターの設定に準じます。

⓭ 時刻表示位置（初期設定：右下）
タイムスタンプの表示位置を指定します。

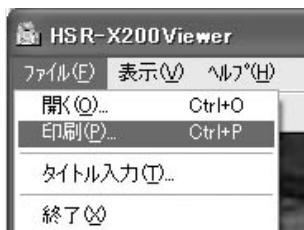
選択項目：右下、右上、左上、左下

⓮ 音声再生
音声再生する場合は「音声再生」をオンにします。

画像を印刷する

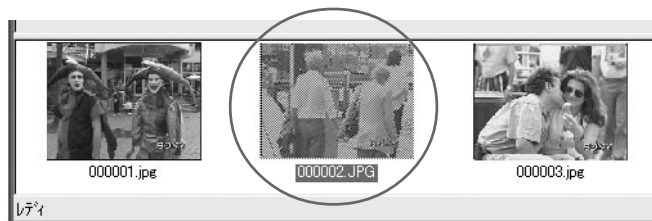
指定した画像を日付情報と共にフル画像で印刷することができます。

1. メイン画像を印刷するには

［ファイル］メニューの［印刷］またはツールバーの をクリックします。

Windows の印刷用ダイアログボックスが表示されます。

プリンタ名や印刷枚数などの必要事項を設定し、［OK］をクリックすると、メイン画像がタイムスタンプを埋め込んだ状態で印刷されます。

2. サムネイル画像を印刷するには

指定のサムネイル画像をクリックしてブルーの表示に変えてから、**1** の操作を行ってください。

3. 一度に複数の画像を印刷するには

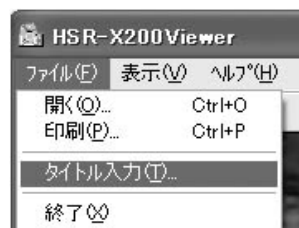
キーボードの Ctrl キーを押しながらサムネイル画像をクリックすると、複数の画像を選択することができます。

指定画像が連続している場合は、Ctrl キーと Shift キーを同時に押しながら選択します。

印刷画像を選択した後、**1** の操作を行うと、1枚に1画像ずつ連続して印刷を行います。

4. タイトルを表示するには

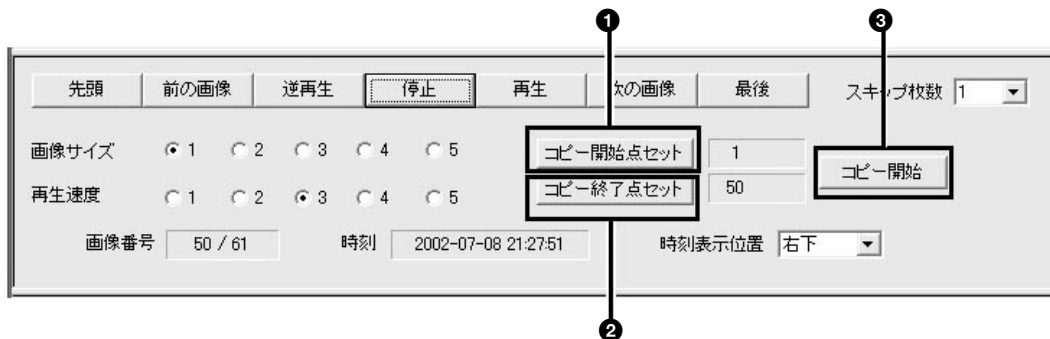
印刷画像にタイトルを表示する場合は、［ファイル］メニューの［タイトル入力(T)］をクリックするとタイトル入力用のダイアログが表示されます。

入力されたタイトルは、印刷時に画像の下に表示されます。

タイトル入力用ダイアログ

入力されたタイトルは10個まで保存され、一覧リストで選択することができます。

画像を保存する （「CD-Rの画像を開く」を選択した場合 ）

CD-R の画像データの場合は操作パネルに画像保存用のボタンが表示され、以下の手順で別の記録媒体に保存することができます。これにより、保存するフォルダの指定やフォルダの新規作成が可能で、ファイル名も自由に設定することができます。

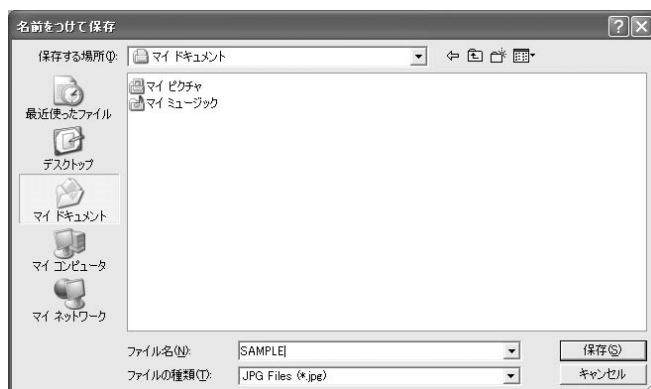
1 保存画像の開始点と終了点の指定

❶［コピー開始点セット］

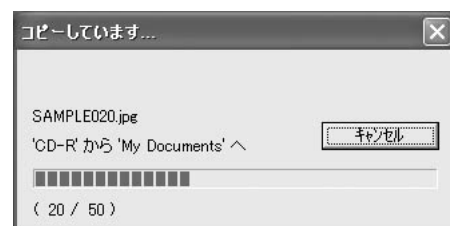
コピーを開始したい画像を選択し、再生停止の状態で［コピー開始点セット］ボタンをクリックすると、保存画像の開始点を画像番号で指定できます。

❷［コピー終了点セット］

コピー終了点も同様の操作で指定します。

2 コピーの開始

［コピー開始］ボタン❸をクリックすると、「名前を付けて保存」のダイアログボックスが表示されます。

3 保存

保存先とファイル名を指定し［保存］をクリックすると、指定した画像が保存されます。

各画像のファイル名は、画像枚数とファイル名の指定により、自動的に作成されます。

例：画像枚数100、ファイル名SAMPLEを指定した場合

SAMPLE000.JPG
SAMPLE001.JPG
・
・
・
SAMPLE099.JPG